

2008年度 東山梨教育協議会研究の概要

研究推進委員長 中村 英彦

I はじめに

東山梨教育協議会は、東山梨地域全体の教育振興を願って、1964年（昭和39年）に校長会・教頭会・教連の三者が、県教委、各地教委の協力により設立され、44年が経過しようとしている。これまでの活動の中で私たちは「平和を守り、真実を貫く民主教育の確立」のスローガンのもと、平和で民主的な社会を作るための教育研究・実践が重要であることを確認し、とりくんできた。また、管理職、教諭、専門職員が協同して組織研究を進め、東山梨地域の学校教育の向上、教職員個人の質的な向上、教職員相互の強固なネットワークの構築をはかり、今に至っている。

しかし、最近の子どもたち、学校教育を取りまく環境は非常に厳しさを増してきている。マスメディアによって何度も取り上げられた「学力低下」に対する不安の広がり、併せて2年目となる全国学力調査の実施は、教職員のとまどいのみならず保護者の不安をも助長する結果になっている。また、昨年度末には、ゆとり教育路線を転換した新しい学習指導要領が公示された。この改訂は国際学力調査をはじめとする各種調査結果を受けての改訂であることはいまでもなく、「ゆとり教育」から、「国際競争」にうち勝ち「世界最高水準」の学力を「国家戦略」によって付けていこうとする動きへ、教育は大きく変わろうとしている。

このような中であって、私たちは、今までもそうであったように、時代の変遷に流されるのではなく、その流れに能動的且つ柔軟に対応した研究活動が展開できるよう、教育の不易と流行をしっかりと捉え、子どもたちを中心に据えた深みのある教育研究活動を行っていくことが大切であると考えている。そして、子どもたちにとって本当に大切なものは何かを考え、どの子にも楽しくわかる授業実践・教育実践を工夫するとりくみを進めていきたい。学習指導要領も改訂され、変革の時期にさしかかっている今日、世の中が学校教育に対して目を向けている大きなチャンスとして捉え、学校教育が真に子どもたちや社会のためになるよう授業実践・教育実践を工夫するとりくみを進めていこうと考える。

II 研究の推進について

1 研究の目標

基本目標 「平和を守り真実を貫く民主教育の確立」

「国民の教育権の確立」

統一テーマ 「人間性豊かな子どもの育成とその学習を保障する教育活動の探究」

2 研究推進の基本的方針

- (1) 教協44年目の歴史的な重みや意義を重視し、東山梨の抱える今日的な教育課題解決のための研究を推進する。
- (2) 教育課程（カリキュラム）の自主創造的な編成を強化推進する。
- (3) 各学校の校内研究と教協研究との有機的結び付きとその充実を図る。
- (4) 保護者・地域住民との連携を強化する。
- (5) 組織研究の意義を理解し充実発展させるために、積極的な参加意識の高揚と組織的参加体制の確立を図る。
- (6) 平和・人権・環境教育を積極的に推進し、生命の尊さや平和の大切さの意識高揚を図る。

3 研究の組織づくり

研究の基底は校内研究にあるとの認識に立ち、課題の本質に迫り、解決の方法・内容を考えたり、専門的力量を高める教育研究部会と、同じ地域に勤めるものが課題を共有し、連携をはかりながらその解決策を探るブロック交流研究会、さらに特別委員会を設け教協研究を推進した。以下、具体的に掲げる。

(1) 教育研究部会

共通テーマ

「人間性豊かな子どもの育成と教科教育課程の自主創造的な編成をめざし、教育の本質を実践的に追究する。」

	部 会 名		部 長	学校名	テーマ
1	日本語教育	小学校	掛本めぐみ	牧丘一小	豊かな表現力の育成ー伝えあう力を高める指導の研究ー
		中学校	岩間梢	山梨北中	豊かな表現力の育成ー伝えあう力を高める指導の研究ー
2	外国語教育		廣瀬芳樹	塩山中	基礎学力をつけるための指導工夫
3	社会科教育	小学校	那須栄樹	塩山南小	科学的社會認識を育てる授業研究
		中学校	武井晴彦	笛川中	科学的社會認識を育てる授業研究 ～身近な資料を用いた授業研究～
4	算数・ 数学科 教育	算 数	原藤生府	後屋敷小	子どもとつくる楽しい授業の創造
		数 学	田中美穂	塩山北中	わかる授業の工夫と授業実践 ー基礎学力の定着と考える力の育成ー
5	理科教育	小学校	山元和香子	玉宮小	わかる理科授業の創造 ～楽しく学び、自然を豊かにとらえる理科授業をどのように進めるか～
		中学校	土屋美華	山梨南中	わかる理科授業の創造 ～新学習指導要領に基づくカリキュラムの研究～
6	音楽科教育		宮澤みさ子	日川小	音楽大好き！ ～音楽のよさや美しさを感じたり表現したりしよう～
7	美術・図工科教育		小澤朋子	山梨南中	一人一人の力を引き出す題材と支援のあり方
8	技術科教育		角田学政	塩山北中	ものづくりを通して生きる力を育てる指導研究 ～特色ある栽培学習～
9	家庭科教育		向山栄子	塩山北中	感じとり体験して生きる力が育つ授業づくり
10	保健体育科教育 (小学校)		金井巖	奥野田小	教材の本質をふまえた体育指導のあり方 ～体づくり運動・各種の運動を通して～ 2年次
11	保健体育科教育 (中学校)		大澤祐子	塩山中	体育分野における授業の効果的な指導法 ー指導形態や場の工夫ー
12	保健教育		荒井恵子	八幡小	山梨 児童・生徒が意欲的に取り組める健康教育をめざして ～健康教育の効果的な指導に役立つ教材教具づくり～ 山梨 心身ともに健康な生活を送る子どもをどう育てるか ～健康な生活習慣への取り組み～
13	生活科教育		保坂恵	加納岩小	子どもが生き生きと学ぶ生活科 ～気づきの質を高めるための支援のあり方～
14	自治的諸活動		高石圭子	大藤小	一人ひとりの自立をめざした学級づくり

15	生活指導	飯島聖華	山梨北中	すべての子どもへの心理的、教育的援助のあり方
16	障害児教育	矢崎よしみ	大藤小	一人ひとりの実態をふまえた支援のあり方 ～自立をふまえて(どの子ども共に生き共に育つ)～
17	福祉教育	青柳俊雄	塩山北小	小学校における福祉教育のあり方をさぐる
18	食教育	小林由紀子	山梨南中	食教育を考える ～子どもたちのより良い食習慣づくり～
19	平和・人権教育と国際理解	三枝剛	勝沼小	人権・平和・環境教育の広がりをめざして
20	環境教育	檜垣貴子	祝小	「自然との共生」をめざした「環境教育」のあり方 ～身近な環境や自然に対し主体的に関わることのできる子どもの育成～
21	情報化社会と教育・文化活動	田辺康仁	勝沼小	情報活用能力を高める研究
22	進路教育			今年度休会
23	保護者・地域住民との連携	古屋雅章	加納岩小	開かれた学校づくりをめざして
24	教育条件整備	名取美香	日下部小	豊かな教育を子どもたちに
25	カリキュラムづくりと総合学習	鈴木英仁	奥野田小	豊かで創造的なゆとりある教育課程の編成 ～総合学習の可能性を今、社会へ発信しよう～
26	教育評価			今年度休会

(2) ブロック交流研究部会

共通テーマ

「地域が抱える教育課題を共有し・解決に向けた交流を行い、同一地域の小中連携や小中の系統的な教育のあり方を追究する。」

・内容について

ブロック名	ブロック長	ブロックテーマ
山梨 支 会	山梨北 ブロック 小河 順一 (後屋敷小)	○小中の連携を深め、山梨北ブロックの児童・生徒の指導に生かす
	山梨南 ブロック 武井 美香 (山梨小)	○情報交換を通して、小中4校の望ましい連携のあり方を探る
	笛川 ブロック 堀内 美紀 (牧丘一小)	○小・中学校の連携を深めるとともに、地域の様子や子どもたちの実態を知り子どもたちの指導に生かしていこう
甲 州 支 会	塩山 ブロック 藤波 貴 (塩山南小)	○小中学校の交流を図る中で、地域の様子や子どもたちの様子を 知り連携して塩山中学区の子どもたちを育てていこう
	塩山北 ブロック 青柳 仁美 (大藤小)	○小・中学校の連携を通し、豊かな心を育む道徳教育の推進 ～生命を尊重し、よりよい生き方を考える児童・生徒の育成を めざして～
	松里 ブロック 雨宮 由縁 (井尻小)	○同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために小・中・地域の交 流と連携を深めよう
	勝沼 ブロック 山宮 由紀 (勝沼小)	○地域の特徴を知る ○小中学校の連携をはかり、同じ地域に生活する児童・生徒に対 する系統的な教育のあり方を追求する
	大和 ブロック 高添 勉 (大和小)	○小中の連携を深め児童生徒の教育問題についてともに考えよう

(3) 特別委員会

ア 教育環境研究特別委員会

(委員長 宿澤 齊 委員長 委員…校長会・教頭会・教連・事務職)

イ 児童生徒連絡協議会

(会 長 松里中学校生徒会会長 深澤周平 顧問教員 數野 透)

4 部会運営

本年度は、教育研究部会24部会、ブロック交流研究会8部会の成立をみた。教育研究部会は年間10回、ブロック交流研究会は年間3回設定し研究活動を行った。年間計画等、きちんとした見通しの上にならざる研究活動を更に推進していくことが重要である。

5 研究日と研究集会

毎週水曜日を研究日とし、郡教協研究日以外は校内研究にあてるが、この確保の努力が不十分の面もある。厳に校内行事等入れないで研究時間を確保してほしい。春季・秋季研究集会は午後2時10分から、冬季教研集会は午後3時30分からの開催とした。

6 研究推進地区

山梨支会を研究推進地区とし、山梨南中学校を会場に各種教研活動が行われた。

7 教育講演会

8月13日(水) はなかげホール

講 師 臨床教育研究所「虹」 所長 尾木 直樹先生

演 題 「教育再生を考える」－学校を元気にするには－

Ⅲ 今後の課題

学力低下論から派生する全国学力状況調査、新学習指導要領への移行、また、不登校の問題など教育現場には様々な課題が山積している。このような中であって私たちは、互いの力量を高め、研究・研修を組織し実践してきた。教育問題が多岐にわたる今日、私たちの研究体制・研究組織としてのとりくみが持つ意義を会員各自が再度自覚し、多様な教育的課題に対応できる広い視野を持つための組織研究がさらに充実、発展するよう努めていきたい。

〈東山梨教育協議会役員〉

役職名	氏 名
会 長	丸山森人(日下部小)
副会長	雨宮 貴(日下部小) 古屋宏記(塩山南小)
事務局	中村英彦(松里小) [研究推進委員長・事務局長] 久保田英樹(勝沼小) [事務局次長]
	丸山森人(日下部小) 奥山 実(山梨南中) 沼田光義(笛川中) 丸田修身(神金小) 津金 猛(松里中)
	雨宮 貴(日下部小) 八巻 登(山梨小) 斉藤正人(神金小) 中村精志(三富小) 鈴木 茂(日川小)
	古屋宏記(塩山南小) 倉田憲一(塩山北中) 中村英彦(松里小) 那須丈彦(山梨南中) 久保田英樹(勝沼小)
会 計	那須丈彦(山梨南中)
会計監査	佐々木與比古(勝沼中) 原 喜雄(東雲小) 中村裕司(玉宮小)